

## がん検診の受診勧奨・再勧奨支援事業

### 【事業概要】

がん検診受診率向上に効果が大きい個別の受診勧奨・再勧奨について、市町村の実施状況を把握し、資材の活用状況と効果検証の結果を共有することで、各市町村における今後の受診勧奨に役立てる機会としている。

#### ①がん検診における受診勧奨資材利用状況について

- ・令和2年度と比較して、受診勧奨資材を利用したコール・リコールを行った市町村数が増加。(30市町村→31市町村)
- ・独自資材を用いてコールのみを行った市町村数が増加し、国がん資材を用いてコールのみを行った市町村数が減少。
- ・コール・リコールともに独自資材を用いた市町村数が増加し、国がん資材を用いた市町村が減少。
- ・コールで国がん資材・リコールで独自資材を用いた市町村数が増加。

#### ②コール・リコール実施結果報告（受診率増減）

- ・コールのみ、コール・リコールともに資材を用いた受診勧奨により、受診率が向上した報告が多かった。特にコール・リコールともに国がん資材を用いた場合は、すべての報告において受診率が向上していた。

コール・リコール	受診率+	受診率±0	受診率-
独自資材を利用	18	1	2
国がん資材を利用	8	0	0
コール独自資材/リコール国がん資材	7	1	1
コール国がん資材/リコール独自資材	2	0	0

コールのみ	受診率+	受診率±0	受診率-
独自資材を利用	64	3	17
国がん資材を利用	6	1	0

#### ③コール・リコール実施結果報告（意見とりまとめ）

- ・令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の流行やワクチン接種業務の影響でがん検診を延期・縮小したことにより、予定していた受診勧奨ができなかった市町村があった。
- ・一方で、令和2年度に受診勧奨を中止した対象者への受診勧奨や、受診控えをしない旨を記載した資材を作成する取り組み等が行われていた。

令和3年度 がん検診における受診勧奨資材利用状況について

		コールのみ 独自資材	コールのみ 国がん提供資材	コール・リコール 独自資材	コール・リコール 国がん提供資材	コール独自資材/ リコール国がん資材	コール国がん資材/ リコール独自資材
1	奈良市	胃、大腸、乳、子宮	-	-	-	-	-
2	大和高田市	胃、肺、大腸	-	乳、子宮	-	-	-
3	大和郡山市	-	大腸	-	乳、子宮	-	-
4	天理市	胃、肺、子宮	-	-	-	大腸、乳	-
5	橿原市	胃、大腸、子宮	-	-	-	肺、乳	-
6	桜井市	胃、肺、大腸、乳、子宮	-	-	-	-	-
7	五條市	胃、肺、大腸、乳、子宮	-	-	-	-	-
8	御所市	乳、	子宮	-	-	-	-
9	生駒市	胃、肺、大腸、乳	-	-	-	子宮	-
10	香芝市	胃、肺、大腸、乳、子宮	-	-	-	-	-
11	葛城市	肺、	-	-	-	胃、大腸、子宮	乳、子宮
12	宇陀市	肺、	-	胃、大腸、乳、子宮	-	-	-
13	山添村	胃、肺、大腸、乳、子宮	-	-	-	-	-
14	平群町	胃、肺、大腸	-	乳、子宮	-	-	-
15	三郷町	-	-	-	-	-	-
16	斑鳩町	胃、乳、子宮	-	-	-	-	-
17	安堵町	-	-	-	-	-	-
18	川西町	胃、肺、乳、子宮	-	-	-	大腸	-
19	三宅町	胃、肺、大腸	-	乳、子宮	-	-	-
20	田原本町	胃、肺、大腸	-	乳、子宮	-	-	-
21	曾爾村	-	-	-	-	-	-
22	御杖村	-	-	-	-	-	-
23	高取町	胃、肺、大腸、乳、子宮	-	-	-	-	-
24	明日香村	胃、肺、乳、子宮	-	大腸	-	-	-
25	上牧町	大腸	-	-	-	-	乳、子宮
26	王寺町	-	胃、大腸、乳、子宮	-	肺	-	-
27	広陵町	-	-	-	-	-	-
28	河合町	-	-	乳、子宮	-	-	-
29	吉野町	-	-	胃、大腸、乳、子宮	胃、肺、大腸、乳、子宮	-	-
30	大淀町	胃、肺、乳、子宮	-	大腸	-	-	-
31	下市町	-	-	胃、肺、大腸、乳、子宮	-	-	-
32	黒滝村	胃、肺、大腸、乳、子宮	-	-	-	-	-
33	天川村	胃、肺、大腸	-	-	-	-	-
34	野迫川村	胃、肺、大腸、乳、子宮	-	-	-	-	-
35	十津川村	-	-	-	-	-	-
36	下北山村	-	-	-	-	-	-
37	上北山村	-	-	-	-	-	-
38	川上村	胃、肺、大腸、乳、子宮	-	-	-	-	-
39	東吉野村	胃、肺、大腸、子宮	-	-	-	-	-

胃	22	1	3	1	1	0
肺	21	0	1	2	1	0
大腸	18	2	5	1	3	0
乳	15	1	8	2	2	2
子宮	16	2	8	2	2	2
	26市町村	3市町村	10市町村	3市町村	5市町村	2市町村

コール・リコール未実施 8市町村

※すべての対象にコール、一部の対象にコール・リコールを行っている場合は、コール・リコール欄に計上している

※対象によって異なる資材を使用している場合は、複数箇所計上している

令和3年度 コール・リコール実施結果報告より

・コール・個別の受診勧奨  
・リコール・個別の受診再勧奨  
・対象者との受診率増減=介入群-対照群  
・対照群:前年度で同じ条件で抽出した対象者、同年度の他の年齢の対象者等

対照群との受診率増減	＜コール・リコール＞ 独自資材を使用 (胃:2 肺:1 大腸:4 乳:7 子宮:7)					国が提供資材を使用 (胃:1 肺:2 大腸:1 乳:2 子宮:2)					コール独自資材/リコール国が提供資材を使用 (胃:1 肺:1 大腸:3 乳:2 子宮:2)					コール国が提供資材/リコール独自資材を使用 (胃:0 肺:0 大腸:0 乳:1 子宮:1)				
	~-10.1	-8.1~-10.0	-6.1~-8.0	-4.1~-6.0	-2.0~-0.1	0	0.1~2.0	2.1~4.0	4.1~6.0	6.1~8.0	8.1~10.0	10.1~12.0	12.1~14.0	14.1~16.0	16.1~18.0	18.1~20.0	20.0~			
			*榎原市 肺 -7.5	明日香村 大腸 -5.1			平群町 子宮 0.0	葛城市 胃 1.6	下市町 子宮 2.2	天理市 乳 4.3	宇陀市 乳 6.2		吉野町 大腸 10.2	吉野町 乳 12.5		吉野町 子宮 19.2	河合町 子宮 21.8			
			平群町 乳 -7.2				*川西町 大腸 0.0	下市町 大腸 1.6	下市町 肺 2.3	王寺町 肺 4.3	大淀町 大腸 7.0		大和高田市 子宮 10.5	葛城市 乳 12.6			田原本町 乳 26.9			
							宇陀市 胃 2.0	下市町 胃 2.5	葛城市 大腸 4.5	葛城市 子宮 7.0			田原本町 子宮 13.6				河合町 乳 29.9			
								下市町 乳 2.8	生駒市 子宮 4.9	大和郡山市 子宮 7.7			大和高田市 乳 13.6				三宅町 乳 31.0			
								葛城市 子宮 3.0	宇陀市 子宮 5.2	吉野町 肺 7.8										
							宇陀市 大腸 3.1		吉野町 胃 5.5											
									*榎原市 乳 5.5											
									*天理市 大腸 5.7											
									大和郡山市 乳 5.7											
									三宅町 子宮 6.0											

対照群との受診率増減	＜コールのみ＞ 独自資材を使用 (胃:20 肺:17 大腸:15 乳:15 子宮:17)					国が提供資材を使用 (胃:1 肺:1 大腸:2 乳:1 子宮:2)														
	~-10.1	-8.1~-10.0	-6.1~-8.0	-6.0~-4.1	-4.0~-2.1	-2.0~-0.1	0	0.1~2.0	2.1~4.0	4.1~6.0	6.1~8.0	8.1~10.0	10.1~12.0	12.1~14.0	14.1~16.0	16.1~18.0	18.1~20.0	20.0~		
	東吉野村 肺 -9.8	東吉野村 大腸 -7.1	明日香村 肺 -5.5	*野迫川村 乳 -4.0	*斑鳩町 子宮 -1.8	*奈良市 子宮 0.0	王寺町 肺 0.1	香芝市 肺 2.1	大淀町 肺 4.2	五條市 肺 6.4	御所市 乳 8.5	三宅町 子宮 11.1	*榎原市 子宮 13.2	注1*田原本町 胃 14.7	平群町 子宮 17.0		高取町 子宮 22.5			
			*平群町 肺 -5.3	*野迫川村 子宮 -4.0	*野迫川村 胃 -1.0	*天理市 子宮 0.0	*天理市 胃 0.2	*山添村 肺 2.2	五條市 乳 4.8	大和高田市 胃 6.5		平群町 乳 11.7					*榎原市 大腸 29.5			
			東吉野村 子宮 -5.3	*平群町 胃 -3.9	*桜井市 子宮 -0.9	*奈良市 胃 0.0	*生駒市 乳 0.2	三宅町 大腸 2.2	香芝市 子宮 4.9	*川上村 大腸 6.6		*榎原市 胃 12.0								
				大淀町 乳 -2.1	明日香村 胃 -0.8	王寺町 大腸 0.0	平群町 大腸 0.2	*野迫川村 大腸 2.3	五條市 胃 4.9	*川上村 乳 6.7										
				東吉野村 胃 -0.7			田原本町 肺 0.3	田原本町 胃 2.4	王寺町 乳 5.2	*川上村 肺 6.9										
				注1*生駒市 大腸 -0.6			*生駒市 胃 0.3	宇陀市 肺 2.4	香芝市 乳 5.5	五條市 大腸 7.0										
				*天理市 肺 -0.3			*桜井市 肺 0.3	*川上村 子宮 3.0	大淀町 子宮 5.9	大和高田市 大腸 7.6										
				*奈良市 大腸 -0.2			*奈良市 乳 0.4	*川上村 胃 3.2	*斑鳩町 乳 5.9	大和高田市 肺 8.0										
							*桜井市 大腸 0.4	平群町 子宮 3.2	*斑鳩町 胃 6.0											
							*生駒市 肺 0.6	明日香村 子宮 3.3												
							*桜井市 胃 0.7	御所市 子宮 3.7												
							*平群町 乳 0.8	三宅町 乳 3.8												
							大和郡山市 大腸 0.9	王寺町 子宮 3.8												
							*山添村 乳 1.0	明日香村 乳 3.9												
							*山添村 胃 1.1	平群町 肺 3.9												
							香芝市 大腸 1.1	五條市 子宮 3.9												
							三宅町 肺 1.2	大淀町 胃 4.0												
							*野迫川村 肺 1.3													
							王寺町 胃 1.3													
							三宅町 胃 1.4													
							平群町 胃 1.4													
							*桜井市 乳 1.5													
							*山添村 大腸 1.5													
							*山添村 子宮 1.6													
							田原本町 大腸 1.6													
							香芝市 胃 1.7													
							上牧町 大腸 1.9													

※比較対象群の設定が難しい等、効果検証が未実施のものについては記載していない  
※対象によって異なる資材を使用している場合は、複数の記載がある

★対照群・介入群ともに同じ資材を使用している  
注1 比較対象群の一部にリコールを実施している  
注2 対照群・介入群ともに同じ資材を使用しているが、介入群では電話勧奨を行っている

令和3年度コール・リコール実施結果報告より

		工夫した点	よかった点	気がついた点・反省点
新型コロナウイルスの影響		<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度コールを中止した対象者にもコールを実施した</li> <li>受診控えをしないようにする文言を資材に記載した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染対策を行い、中止を避けながら実施できた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワクチン接種会場確保のため、検診が年末開催となり、受診者が減少した</li> <li>集団検診の定員を減らしたことで、予約枠が早期に埋まった</li> <li>ワクチン接種業務の影響によるマンパワー不足でリコールができなかった</li> </ul>
対象の選定	対象の絞り込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>関心層や節目年齢等にターゲットを絞り込んだ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>節目年齢へのコールにより受診率が向上した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診行動を起こしやすい対象への勧奨は費用対効果が高い</li> <li>転入者も受診の機会を得られる体制づくりが必要である</li> </ul>
	対象の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>検診の対象者全員に受診勧奨を行った</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>対象が広いと健康意識も様々であるため、同じ資材では動機づけが難しい</li> </ul>
受診勧奨の方法	資材のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>自覚症状の出ていない段階での受診の重要性や検診の流れについての説明を資材に記載した</li> <li>目を引くデザインにした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>送付資材をきっかけに受診した方が複数いた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資材に記載した情報が多く、本当に伝えたい内容が伝わりにくかった</li> </ul>
	周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診券を一括化した</li> <li>チラシの同封やセット検診の案内等を行った</li> <li>がん種によって受診勧奨時期をずらした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の検診の同時申し込みがあり、当該のがん検診以外の受診勧奨にも活用できた</li> <li>バリウム検査が苦手な方が胃内視鏡検診を受診することができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5がん共通の資材や一括化受診票では、対象となる検診や受診方法に関する問い合わせがあったため、改善が必要である</li> </ul>
	SNSの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>資材にネット申し込み用のQRコードを掲載した</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSを活用する等、受診率が低い若い世代へ向けての受診勧奨を強化していきたい</li> </ul>
	電話での勧奨	<ul style="list-style-type: none"> <li>資材の送付だけでなく、電話により対象者へ直接働きかけた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話での勧奨は、資材のみでの勧奨よりも受診につながりやすかった</li> </ul>	
	手軽な検診からの勧奨	<ul style="list-style-type: none"> <li>手軽に受けられる大腸がん検診について重点的に受診勧奨を行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大腸がん検診の便の回収日に他のがん検診を勧める機会を得ることが出来た</li> </ul>	
	問診票の同封	<ul style="list-style-type: none"> <li>手続きをしなくても受診できるように問診票を同封した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>申し込み手続きの手間が省けた</li> </ul>	
	クーポン送付	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診対象になる初年度である方に無料クーポン券を送付した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>無料クーポンの配布は受診率の増加や初診者割合の増加につながった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>無料クーポンの配布は継続受診にはつながりにくい</li> </ul>
受診しやすい体制	利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の検(健)診を同時実施した</li> <li>休日や託児付きの検診を実施した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診しやすい体制構築は受診者数アップにつながった</li> <li>各検(健)診担当課が他課の検診について把握できたことで、連携して市民への対応ができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5がんセット検診の受診者を優先受付した結果、単独受診希望者の受け入れ枠が少なくなった</li> <li>5がんのセット検診や年度後半の検診では、定員割れが発生した</li> </ul>
	受診機会の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>申し込み期間を長く設定した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診機会を十分に確保したことで、キャンセル数が減少した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人数オーバーによって断ることがあった</li> <li>毎月の実績からおおよその数を把握し、早期からの準備が必要である</li> </ul>
リコールの実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>検診受診終了の少し前にリコールを行った</li> <li>電話での申し込み対応に備え、リコール後は担当者の数を増やした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診終了間近にリコールを行うことで、駆け込み受診者が増えた</li> <li>リコール後の受診者の中の初診者数が増えており、初診者の掘り起しにつながった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コールとリコールの間隔が短いと、効果が薄くなる可能性がある</li> <li>男女に分けて効果検証をすることで、リコール効果の男女差を得られる可能性がある</li> </ul>